

企業

強さの条件

法的整理による日本航空、空港と上海、北京などを結ぶの再建が固まり、視界不良、中国人旅行者の訪日需要が深まる日本の空の未来を掘り起こす。推進役の図。アジアと日本の距離を「九州の航空産業高度化協どう縮めるか。方針が揺れ議会」にはJTB九州や西動く政府主導の日航再建を日本鉄道、九州電力、三菱待たずに、企業はアジア内商事など6社と福岡県、九州大学が名を運べる。

訪日客増へ戦略

航空券はタタ。九州は経済成長が続く。「そで常識破りの航空会社設立の活力を持ち込みたい」。構想が動き出した。名付けJTB九州の地域活性化事業で「エアQ」。九州各地の業推進室室長、山下真輝

第1部 未来を創る 2

(40) は意気込む。

訪日客は航空券の代わりに「九州パウチャー」と呼ぶ疑似通貨を買う。1人が10万円分を九州に落とせば、1日3000人として年1000億円強。高度医が生まれる。インフラはすでにある。計画を含め全国に98もある空港だ。路線縮小・撤退で地方空港の苦悩は深まるが、利用率を高める手はまだある。その一つが各地に散らば

海の向こうの「内需」

空港生かし人・モノ動かす

療など日本の強みを提供する観光関連企業の連携だ。れば経済効果はさらに膨らむ。機材や乗員の確保など実現への課題は多い。だが、国内線の旅客増は期待できない。視線を中国に向け採

定期便が1日2往復しか出ず。鳥本は「広域な観光ルートでリピーターを飽きさせない」という。国立社会保障・人口問題研究所の試算では日本の人口は2020年までに05年比で最大650万人減る。年間消費支出を1人230万円程度とすると消費の内需の総額は15兆円に迫る。



羽田空港の管制塔（奥）をのぞむJR東海の大井車両基地（東京都品川区）